



上武大学D戦
3-7

写真
6回裏、3塁打を放った豊泉

関甲新学生野球・オータムカップの常磐大学Bの初戦、上武大学D戦が行われ、常磐大学Bは3-7で敗北した。

【11/6 上武大学第2野球場】先行の常磐大学、初回の攻撃は2アウト1,2塁を作るも無得点。

1回裏、先発投手は笹目翔太郎（2年）。ヒットと四球で1アウト満塁のいきなりのピンチを作るも、5番バッターをショートゴロのダブルプレーに冷静に打ち取る。

2回表、先頭打者の大塚偉歩己（1年）がヒットで出塁。7番安藤出望（1年）の投手ゴロの間に2塁へ進塁。8番大崎翔（2年）は四球。ランナー1,3塁、9番長瀬祥太（1年）の3球目に暴投で常磐大学が先制する。1-0。

2回裏、先頭バッターにいきなりソロ本塁打を打たれ同点に追いつかれる。1-1。その後1アウトをとるもヒット2本で1アウト1,3塁。ライトへの犠牲フライで追い越される。1-2。

両者、無得点のまま進んだ5回表、先頭打者長瀬がヒット、続く大隈聖蓮（1年）が犠打でランナーを送る。2番川波祐貴（1年）がライトへヒットで同点に追いつく。2-2。

6回表、4番所宜和（1年）が2ベースヒットで出塁。続

く3番豊泉翼（1年）が3ベースヒットで勝ち越す。3-2。6回裏、先頭に3ベースヒットを打たれるも、続くバッターのサードゴロ。ショート大塚の好判断で3塁ランナーをアウトにする。しかし2本のヒットと死球で同点に追いつかれる。3-3。なおも2アウト2,3塁のピンチで2つの暴投が重なり、3-5と逆転されてしまう。

7回から投手は、野口航（1年）に代わり、8回にヒットと四球で2点を失う。3-7。

最終回、常磐大学Bの攻撃は、3四球でノーアウト満塁のチャンスを作るも、続く打者がいずれも空振り三振の無得点に終わり敗退した。3-7。

バッテリーは、笹目翔太郎（2年）、野口航（1年）一長瀬祥太（1年）。

(文・岩附詳陽)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
常磐大B	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
上武大D	0	2	0	0	0	3	0	2	X	7